

アル・アクサ洪水第792日目：速報：パレスチナ人協力者で有罪判決を受けた犯罪者ヤーセル・アブ・シャバーブが殺害される

Palestine Chronicle 2025年12月4日、脇浜義明訳



ヤーセル・アブ・シャバーブ。(Photo: via social media)

主要事項

*イスラエル軍はガザ回廊の「安全地帯」と指定した地域を空爆し、死傷者を新たに作り出し、すでに避難してきた人々を新たに避難させた。

*イスラエル軍は西岸地区への攻撃を強化し、町や村や難民キャンプを襲撃し、理由もなく多くの人々を逮捕した。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者70,103人、負傷者170,985人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

12月5日 12:23am

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ代表サッカー・チームは2025年アラブ・カップで脅威的な粘りと闘志を発揮し、強豪チュニジアとの試合を2-2のイーブンに持ち込んだ。

12月4日 10:58pm

*ハマス：ヤーセル・アブ・シャバーブの運命は裏切者の必然的な運命だ。イスラエル占領軍が墮落した暴力団に依存するのは、我々パレスチナ人民の揺るぎない決意を前にして彼らが敗北していることを証明している。占領軍は自分たちが利用する協力者を守ることはできないだろう。人民とその家族の団結こそが、怪しげな暴力団に居場所を与えない安全対策である。我々はアブ・シャバーブやパレスチナ人襲撃に関与した者と縁を切った家族の立場を尊重する。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍の支援を受ける「人民部隊」と称する暴力団はヤーセル・アブ・シャバーブの死を追悼する声明を出し、彼がアブ・サニマ家の家族間の争いをやめさせようとしたときに負傷して、その後死亡したと主張した。

*アル・ジャジーラ：10月10日の停戦発効以降、イスラエルはほぼ毎日停戦違反し、数百人のパレスチナ人を死傷させた。

12月4日 8:14 pm

*パレスチナ・クロニクル：ほぼ150年前に最初のユダヤ人入植者がパレスチナの地に足を踏み入れたとき、第1回シオニスト会議（1897）は開かれていなかった。つまり、シオニズムが政治的勢力として組織化する前に、パレスチナへの移民の波があった。[ペレン・ビルサイギリ・ムットの小説](#)を読みたい。（Peren Birsaygili Mut, “The Power of Truth Against Fiction: Comparing Palestinian and Zionist Literature”, Palestine Chronicle, December 4, 2025）

12月4日 8:13 pm

*ロイター通信：毎年恒例の音楽祭「ユーロビジョン・ソング・コンテスト」にイスラエルが参加することに抗議して、アイルランド、オランダ、スペインが撤退した。

*イエディオト・アハロト：イスラエル治安筋によれば、ヤーセル・アブ・シャバーブは乱闘で殺害され、ソロカ病院へ搬送される途中で死亡した。「イスラエルとの協力をめぐる内部争いで。激しく殴打されて死亡した」と言われる。イスラエル治安当局は、アブ・シャバーブの死亡が「ハマスを強化する」ことを懸念している。

12月4日 5:57 pm

*パレスチナ・クロニクル：CNNの調査で、ガザで援助物資を求める人々がイスラエル軍の無差別銃撃で殺されたばかりでなく、ガザ回廊北部のジキム・クロッシング付近ではイスラエル軍が殺害した住民の死体をブルドーザーで浅い墓標のない穴へ放り込んだことが明らかになった。

12月4日 5:08 pm

*ハマス声明：ハマスは停戦合意の遵守を再確認し、捕虜交換協定を引き続いて履行するために遺体捜索を続けると述べ、仲介国と保証国に、イスラエルの違反行為をやめさせ、ラファ・クロッシングの双方向開通をさせるように圧力をかけることを求めた。

*カン：ソロカ病院がヤーセル・アブ・シャバーブを負傷患者として受け入れたと言われているが、病院は否定している。

*イスラエル軍ラジオ放送（情報源の引用）：ヤーセル・アブ・シャバーブの殺害はイスラエルにとってよくない展開だ。

12月4日 4:10 pm

*パレスチナ・クロニクル：有罪判決を受けた犯罪者からイスラエルが援助する民兵指導者へ変貌—ガザで殺害されたヤーセル・アブ・シャバーブとは何者か。[パレスチナ・クロニクルの記事](#)を読みたい。

12月4日 3:22 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルの指導でガザ回廊で活動していたパレスチナ人反ハマス民兵指導者のヤーセル・アブ・シャバーブが、今日、身元不明の武装団に殺害された。

12月4日 2:56 pm

*イスラエル・メディア：チャンネル14はガザでイスラエル協力者民兵指導者ヤーセル・アブ・シャバーブが殺害されたことを報道し、イスラエル軍ラジオ放送はアブ・シャバーブが身元不明な襲撃者によって殺害されたと報じた。

*イスラエル軍：我々は南レバノンのヒズボラの軍事施設を攻撃する。南レバノンのジュバア村とマハルーナ村の特定の建物の住民に退去することを要求する。

*パレスチナ・メディア：パレスチナ人囚人事務所は、イスラエル刑務所のガザ出身のパレスチナ人囚人3人が死亡したと発表した。

12月4日 2:52 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍はヘブロン南方のドゥラ市を襲撃した。

12月4日 12:08 pm

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領当局は、エルサレム北西の町ラファト出身の負傷したエルサレム市民のハイエル・イッサ・ディファラーを、イスラエル兵殺害の罪で終身刑を宣告した。

*QNN：クッズ・ニュース・ネットワークは、イスラエル占領軍がジェニン南の町カバティヤで家宅捜査と逮捕を行っていると報じた。

*パレスチナ・メディア：反分離壁・入植地委員会は、イスラエル占領軍と入植者が西岸地区パレスチナ人への襲撃事件は合計2, 144件になると報告した。

*アル・アクサ TV：イスラエル軍戦闘機がガザ市東部地区を空爆し、軍ヘリコプターが住宅を爆撃した。

*アクシオス：トランプ大統領はガザ停戦合意の第二段階が「まもなく開始される」と述べた。アクシオスのバラク・ラビド記者はXへの投稿で、トランプ大統領が第二段階への移行は進んでおり、まもなく実施されるという発言を書いた。

*PFLP：ハーン・ユーニスのマワシ地区の避難民テントへの卑劣な攻撃で火災が生じ、子どもを含む罪のない民間人が死亡した。これは国際法と人道を無視した本格的なジェノサイドであり、ファシスト国家テロである。

*ネタニヤフ首相官邸：ネタニヤフ首相は、「ガザ停戦の第二段階はハマスの武装解除とガザの非武装化を目指すものだ。そして、私は第三段階として、ガザ住民から過激主義を排除することだと思っている」と述べた。首相は、ハマスはガザに留まることはできず、彼らの排除は国際部隊が行うか、あるいは「厳しい道」（イスラエル軍の攻撃）で行うことになると言った。

12月4日 1:16 am

*パレスチナ・クロニクル：ハーン・ユーニスのマワシ地区の避難民テントへのイスラエル無人機の攻撃で、子ども2人を含むパレスチナ人5人が死亡した。ラファで抵抗勢力との衝突を受け、イスラエル軍はガザ回廊南部への攻撃を強化している。

12月3日 11:52 pm

*ハマス声明：イスラエル軍のハーン・ユーニスの避難民家族テントへの攻撃は戦争犯罪であり、停戦合意を露骨に無視する行為である。我々は、仲介国と停戦保証国に、イスラエル占領軍を抑制し、ネタニヤフの停戦合意を無視して民間人を爆撃するのを止めるように求める。

*アル・ジャジーラ：イスラエルの無人機がハーン・ユーニスのマワシ地区の避難民テントを4回爆撃した。

*パレスチナ・メディア：クウェート専門病院の報告によれば、イスラエル軍ドローンがハーン・ユーニスのマワシ地区の避難民テントを空爆し、子ども2人を含む5人が死亡した。

12月3日 8:01 pm

*パレスチナ・クロニクル：パレスチナ人指導者マルワン・バルグーチの釈放を求める国際運動に、世界の200人以上の文化人が参加し、イスラエルがバルグーチを虐待し、国際的な要望を無視して彼の釈放を拒否していることを非難した。

12月3日 7:42 pm

*パレスチナ・クロニクル：元米 국무長官のヒラリー・クリントンは、米国人若者（ユダヤ系米国人若者も含む）が、TiTokなどのSNSの「完全なプロパガンダ」や「完全に捏造された」イスラエル軍蛮行の動画に惑わされて、イスラエルに対して批判的になっていると主張している。彼女は、イスラエルの戦争犯罪とジェノサイドの動画や報告や報道はジャーナリスト、人権団体、国連機関、法律専門家が独立的に調査し検証されたものであるにもかかわらず、それを否定し、若者が情報源としてSNSに依存していることを「深刻な問題」だと主張している。

*イスラエル軍：我が軍のゴラニ旅団の兵士2人がラファで負傷した。1人は重傷で、1人は中程度の負傷である。これは、ラファ東部のトンネルから現れた武装集団との衝突で生じた。

*国連人権高等弁務官事務所：ガザでは戦争のために、自分の人生を変えるような大きな負傷を負った人が約42,000人いる。手足切断した子どもの数は近代史上最多である。

*エヤル・ザミール参謀総長：我々はすべての戦線で複雑な脅威に対抗している。我々は封じ込め政策に従っているのではなく、自らのイニシアチブで行動している。

*イスラエル軍ラジオ放送：情報筋の話では、ラファのトンネルから3人の武装団が現れ、軍に向かって対戦車ミサイルを発射した。チャンネル12は「ラファの事件を深刻に受け止め、兵士へのいかなる攻撃も見逃さない」という軍高官の言葉を報じた。

12月3日 5:26 pm

*パレスチナ・クロニクル：今日もイスラエル占領軍はジェニン南のカバティアを攻撃し、これで3日連続である。カバティア上空を戦闘機が頻繁に展開している